

下村通信

下村町内会会報 令和2年度 第2号

令和3年3月7日発行

新しい日常の町内会

下村町内会 小塚会長に、令和二年度を振り返り、また次年度の展望を伺いました。



——令和二年度を振り返っていかがでしたか

小塚会長「町内会は人と人との交流が欠かせません。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があって、その交流が制限されてしまいました。運動会、盆踊り大会は中止、総会は書面で、定例会も書類受け取り方式での開催になりました」

(左 小塚会長)

——特に重点を置いたのはどのような活動でしょうか

小塚会長「コロナ禍の中で、すべての活動を見直す機会になった一年でした。そこで、活動のインフラとも言える、個人情報取り扱いに関する規定や自主防災組織などに着手しました。すでに町内会館には書類を保管するための鍵付きの収納棚を設置しています。防災面では災害時に用いる安否確認カードを配布しました」



(右 鍵付き収納棚) →

——新しい取り組みもありましたね



小塚会長「町内の道路に関しての要望書が出されましたが、この課題について、小学生の登校時の見守り活動など、町内会に出来ることから始めています。情報の共有化を進める過程で、この取り組みがタウンニュースに掲載されました。新しい活動としては、和泉町第二公園で始まった「子どもの遊び場」もその一つです。道路については土木事務所と、公園遊びでは社会福祉協議会と連携を図っています」

——次年度に向けてはいかがでしょう

小塚会長「次年度の予算や計画は総会での承認を経て決定しますが、時代に即した町内会活動をおこなっていききたいです。ホームページのさらなる活用など、会合の情報の伝達や連絡体制を充実させていきます。町内会館の活用方法も考えています。また、新規会員を増やすために「会員増強キット」を作ることも検討中です。今年度中止した行事はコロナが収まった場合にはぜひとも再開したい、これはみなさんも願っていることではないでしょうか」

下村町内会にはホームページがあります。



トップページ →

